



学校だより

バンクーバー補習授業校

2026年度

第3号

2026・5・7

学校とご家庭の連携を大切に・・・

～子どもたちの豊かな学びを支えるために～

先般、二日間にわたり、幼稚部・小学部・中学部において学級懇談会を実施いたしました。ご多用の中、多くの保護者の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。

小学部と中学部の各学級懇談に先立ち行われた全体会では、児童生徒が充実した補習校生活を送るために、特に大切にしたいことについて校長からお話をさせていただきました。

本校は現在、児童生徒数が増加傾向にあり、多様な背景を持つ子どもたちがともに学ぶ、大変活気ある学校となっています。

その一方で、よりよい教育環境を維持していくためには、学校とご家庭が同じ方向を向き、協力して子どもたちを支えていくことがますます重要になっております。

全体会では、特に次の二点についてお願いをいたしました。

一つ目は、集団生活における「ルール・マナー」の大切さです。あいさつをする、人の話をしっかり聞く、順番を守る、友達を思いやる——こうした基本的な姿勢は、安心して学ぶ環境づくりの土台となります。また、近年はインターネットやオンラインゲーム、携帯電話等をめぐる課題も増えております。便利な道具である一方、使い方によっては人間関係のトラブルにつながることもありますので、各ご家庭においても継続的な見守りとご指導をお願いいたします。

二つ目は、学習習慣の定着についてです。補習校の学習は、毎週の積み重ねが大変重要です。欠席が続くと、算数や国語を中心に学習内容の理解が難しくなっていきます。特に国語



では、漢字や語彙の積み重ねが、日本語を使いこなす力につながります。宿題への取り組みも含め、日々の積み重ねを大切にしてほしいと考えております。

本校は、在外教育施設として、子どもたちの日本語での学びを支える大切な役割を担っています。

今後とも、子どもたちの健やかな成長のため、保護者の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

多くの保護者の皆様にご参加いただきました。(5月2日 小学部全体会)

「学び続ける教師」をめざして

～5月 教員研修月間の取り組み～

本校では、5月のひと月間を「教員研修月間」と位置づけ、教員同士が互いの授業を参観し、学び合う取り組みを進めております。

補習授業校では、教員それぞれが同時帯で各教室で授業を行っているため、他の学級の授業を見る機会が非常に限られています。そこで本年度は、单元テスト等の時間を活用し、担任の先生が他学級の授業を参観できる時間を設けました。

授業を参観することで、子どもたちへの声のかけ方、授業の進め方や教材提示の工夫、子どもたちの集中を高める方法、ICT機器の活用の仕方など、多くの学びや「気づき」を得ることができます。

教師の授業力の向上は、一朝一夕に実現するものではありません。しかし、まずは互いの実践を「見る」ことから、新たな学びが生まれ、自らの授業改善につながっていくものと考えております。

なお、教員が授業参観を行っている時間は、校長や学校ボランティア等が教室に入り、单元テストの見守り等を行っています。

本校では、教員同士が学び続ける姿勢を大切にしながら、子どもたちにとってより充実した授業づくりに努めてまいります。



教員同士が互いの授業を参観し、学び合う取り組みを進めています。

図書を寄贈いただきました。

～子どもたちへの心あたたまる贈り物～

5月2日（土）、キャラクターグッズ専門ショップ「The Little Thing」CEOの佐藤広樹様より、本校へ図書3冊をご寄贈いただきました。

今回ご寄贈いただいたのは、『ねこ、いる！いる！』（田中ひかる 作）

『えんとつ町のプペル』（西野亮廣 作）

『チックタック～約束の時計台～』（西野亮廣 作）の3冊です。

このうち『ねこ、いる！いる！』は、昨年度、本校でワークショップや読み聞かせを実施して下さった絵本作家・田中ひかる氏の新たな作品です。子どもたちが楽しみながら日本語や物語の世界に親しむことのできる、大変魅力的な本をいただきました。



ご寄贈いただいた図書は、子どもたちの読書活動や学習活動の充実に役立ててまいります。佐藤様の温かいご厚意に、心より感謝申し上げます。